

魚津埋没林による石炭化行程に関する研究、富山県魚津埋没林の成因について……………（塚島寛）の16～17ページ  
 図-11a,b,c を下記の如く訂正する。

図-11a 埋没林の生成

1. 立川期以前
2. 海面低下期（20000年B.P.Würm期）
3. 扇状地形成期（5300～1800年B.P.）  
 （海面上昇、縄文前期、現海面より+6m）

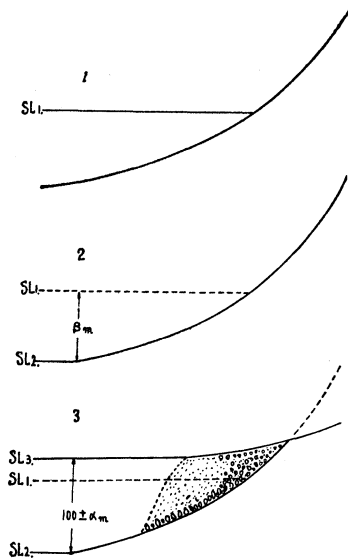


図-11b 埋没林の生成

4. ボカ杉繁茂樹（縄文中期5000～1900年B.P.）（現海面より0～-2m）
5. 砂丘形成期（後背湿地化）  
 縄文後期末土器発見， $^{14}\text{C}$ -1960 $\pm$ 70年B.P
6. 第1 Peat 形成期

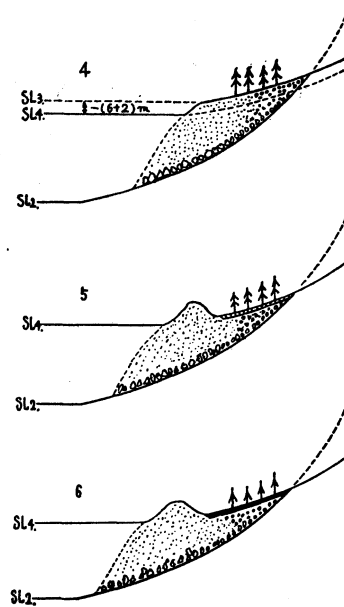


図-11c 埋没林の生成

7. 第2 Peat 形成期（弥生期末1700～1800年B.P.）（海面上昇）
8. 礫被覆期
9. 海岸浸蝕期（現在）  
 （SL1～5.海水面）

